令和5年度第1回常総市都市計画審議会 会議録

日時 令和5年10月2日(月) 14時から
場所 常総市役所 議会棟2階大会議室
出席委員 秋田 雅之委員 梅本 通孝委員 大滝 文雄委員 五木田 裕一委員
 (13名) 小林 一洋委員 佐藤 剛史委員 茂田 信三委員 倉持 守委員
 沼尻 隆志委員 田島 洋子委員 海津 義和委員(代理 大嶋 大輔氏)
 臼田 孝徳委員(代理 池田 和美氏) 佐藤 啓司委員
欠席委員 青木 清人委員 染谷 悦子委員
 (2名)

事務局 都市建設部長 小林 寛明 都市計画課長 神達 隆樹
 都市計画課長補佐 前島 淳 都市計画係長 岡本 伸二
 都市計画係主任 森 大輔 都市計画係主幹 澤田 卓哉
 下水道課長補佐 浅米 啓充 工務係長 幕田 喜昭

議 事

都計諮問第1号
 石下都市計画及び水海道都市計画下水道の変更(常総市北部公共下水道)
 都計諮問第2号
 石下都市計画下水道の変更(若宮戸都市下水路)
 報 告
 都市計画マスタープランの改定(令和4~5年度)
 都市計画提案制度の運用開始
 そ の 他
 今後のスケジュールについて

会 議 内 容

- 1 開 会 14時00分
- 2 部長挨拶
- 3 会長挨拶 秋田会長
- 4 委員紹介
- 5 議事録署名人の指名について
- 6 議 事

【都計諮問第1号 石下都市計画及び水海道都市計画下水道の変更(常総市北部公共下水道)】について、事務局より資料を基に説明。

《質疑》

(A委員) 雨水の排水について、内水氾濫などを想定すると公共下水道の方に一体的に運用した方が上手く処理できる等、運用上のメリットもあるか。

(事務局) 令和6年度に常総市雨水管理総合計画を作成し、特に浸水被害が危惧されている箇所への重点的な対策の検討など、計画的にソフト・ハード面の内水対策を進めていく予定。

(A委員) 区域内に追加されるのは雨水の22haだけとなっているが、汚水処理についてこ

の地域では、どのように行っているのか。

(事務局) 若宮戸地区の汚水処理は、現在、公共下水道ではなく合併浄化槽による個別処理で対応している。

(A委員) 今後の見通しはどうか。

(事務局) 汚水事業は、令和8年に全体計画の見直し予定。持続運営、汚水事業を検証した上で、計画範囲を見直していこうと考えているところ。

(B委員) 常総市旧石下地区での下水道工事完了はどの程度なのか、また、下水道への加入率はどのくらいか。

(事務局) 今手持ちの資料がなく回答を控えさせていただきます。

(B委員) 内水氾濫を防ぐ、また、河川浄化について下水道への接続するためにどのような啓発をして、どのような働き方をしているのか簡単に聞かせていただきたい。

(事務局) 工事を始める前に説明会などを実施し、その時にお願いなどを行っている。また、それとは別に個別に伺い、工事の説明および下水道へ接続のお願いしている。

(B委員) お願いだけでは伸びない。近所は13件ほどあるが、下水道に接続したところは2件か3件。あとはもう接続する予定もない。公的な補助も人も予算も限られている。もう少し聞かせていただきたい。

(事務局) 今後は、その下水道への接続に対して補助を出したいという考えがある。しかしながら、財政部局と相談が必要であり、あくまで今のところの考えである。

(B委員) 極端な話で下水道に接続しなくても生活に差し支えないので、弾力的に検討をお願いしたい。また、現場周辺がよく振動しているように思える。下水道の埋設管敷設後、どのような監督をしているのか。

(C委員) 一般的な話になるが、道路の中に水道や下水道を入れる場合には道路管理者に水道管や下水道管を入れるための道路占用許可申請が必要となる。その際に所定の深さや所定の構造がしっかり保たれているかを常総工事事務所にて確認し、その後許可という流れになる。その許可後に実際に下水道であれば下水道部局で工事を入れて、その工事そのもので検査を行い、かつ占用工事としての確認を県です。今の段階では下水道の工事は市側の工事になるため、不明なところもあり、確認をさせていただきます。

(D委員) 計画を見直す中で公共下水道に対する優先も左右されるのか。

(事務局) 市街化区域については令和8年度までに概成となる予定。

(D委員) もう一度再確認だが、令和8年度までに市街化区域の下水道をやるという予定でいいのか。

(事務局) その通り。

(E委員) 下水道を設置した当時と今は雨量が変わってきている中で、更新や改修するにあたって処理能力は同じような形で考えているか。

(事務局) 今考えているのは現状の能力とほぼ同じもの。しかし、来年以降、市のストッ

クマネジメント事業の中で雨量や能力についても検討を進め、状況によってはさらにグレードアップも考えている。

(F委員) 今後次第では、今までの基準よりも性能を良いものを整備していきたいと話のことだが、なかなかその辺は難しいところもあると推測する。処理能力が減ることを伴っても問題がないようご配慮いただきたいと思うし、現状を少しお話していただきたい。

(事務局) 一定の期間において行われる公共下水道計画の見直し時に、変更等の対応を行っていく。

(F委員) 大雨が多発している状況なので、住民説明を十分にしていきたい。

(会 長) 原案のとおり、答申してよろしいか。

《異議なし》

【都計諮問第2号 石下都市計画下水道の変更(若宮戸都市下水路)】について、事務局より資料を基に説明。

《質疑なし》

(会 長) 原案のとおり、答申してよろしいか。

《異議なし》

7 報 告

【都市計画マスタープランの改定(令和4～5年度)】について、事務局より資料を基に説明。

《質疑》

(E委員) きぬふれあい道路整備の進捗状況を教えていただきたい

(C委員) きぬふれあい道路は、市からの要望を受けており、鹿小路細野線の開通や取手豊岡バイパス等、茨城県の方で進めているが、その北側の大生郷工業団地と辺りとの接続ルートをどのようなルートが良いか等を検討している状況。誰がやるのかということも含めて、まだ確定している状況ではないため、これから検討しながら市と一緒に整理をしながら進めていきたい。

(A委員) 都市計画マスタープラン策定委員会の名簿を見たときに市役所関係の方以外はどちらかというと専門の方ばかりで、市民の方が少ないのではないか。その部分は市民ワーキングというところで検討し、意見を吸い上げたものを反映させているようだが、第3回の6月11日終了でよいか。

(事務局) その通り。

(A委員) 市民ワーキングの結果をどのように反映させるのか。

(事務局) 市民ワーキングの結果を踏まえ、地域別構想としてまとめており、次回策定委員会で提示する形になっている。

(A委員) 市報等で公表されているか。

(事務局) ホームページ等に公開していく。

(A委員) 庁内ワーキングにおいて案の具体化という実現案を考え、策定委員会に持っていくという流れか。

(事務局) その通り。

(A委員) 市民のご意見は凄く大事なことです。やり方によってはいわゆる骨抜きのような状態にもなりかねないため、その辺り十分市民の方々のご意見に配慮いただきたい。

(事務局) 都市計画マスタープランの策定委員会及び市民ワーキングそれぞれの資料は、随時会議が終了次第、ホームページに更新している。庁内ワーキングは、検討事項が多く、内部資料ということで公開していない。公開を準備しているのは策定委員会と市民ワーキングを公開し、随時策定委員会に市民ワーキングの結果を報告した上で、次の検討を毎回進めている。

(B委員) 市民の方はホームページをどのくらい見ているか。

(事務局) 具体的な数字は把握していない。

(B委員) おおよそで良いので、どのくらいか。

(事務局) おおよそ3割ぐらいではないか。

(B委員) 10%台ではないかと思う。パブリックコメントやったからもうそれで終わりではなく、せめて「4割までみてもらえるようになった」とならないといけないのではないか。

(事務局) 広報の方法について、より検討するよということによいか。

(B委員) その通り。

(事務局) 承知した。

(F委員) 都市計画に関わることは住民の合意プロセスがとても重要で、都市計画は手続きを踏んで色んなことをやるという仕組みになっている。問題は市民に関係することにどのように関心を持ってもらうか。実は常総市だけでなく、日本全国のどこの市町村も抱えている課題である。

また、きぬふれあい道路について、常総市がこれまで大きな水害が過去にあって、防災都市だということ今進められている中で、この道路整備は防災上の観点からもとても重要だというような位置付けをきちんとしないとなかなか進めていくことは難しい。2, 30年前の人口もある程度増える、交通量も増えるという時代とはもう既に変わってきている状況で、各市町村が道路作ってという要望がたくさんある。「この道路を作ることで、市は施策をやっていく」等の説明が必要で、さらに道路が利用されていくようになる。市全体あるいは隣接の市町村までこれだけ効果が出てくるということを作っていないといけない。

【都市計画提案制度の運用開始】について、事務局より資料を基に説明。

《質疑なし》

8 その他

【次回の都市計画審議会開催予定】について事務局より説明

9 閉 会 15時30分